

6月議会

一般質問で市民の願い取り上げ実現せまる

6月議会は一般質問が14日から19日まで4日間おこなわれ22人が質問。日本共産党の3議員は、米朝首脳会談や原発など国政の重要課題や生活保護、国保、待機児童、市道認定、介

護保険、乳児健診、水口での女児の水難事故、お茶の寒干害、太陽光発電の規制、小学校での「道徳」「英語の教科化」、旧甲賀病院跡地利用で問題点を指摘し実現をせまりました。

■山岡光広議員

史上初の米朝首脳会談に対する市長の所見を求めたところ「朝鮮半島の非核化と平和構築にむけて大きく前進することを願っている」と述べました。

生活保護のしおりやHPの改善については、「生活保護法では、民法で定める扶養義務者による扶養を保護に優先させる」となっているがそれは「生活保護の要件ではない」と指摘。しおりを示し、生活保護の申請や内容が正確に読み取れるよう改善すべきと求めました。

国保の子どもにかかる均等割軽減のために国の特別調整交付金が措置されていますが、県が先に納付金から差引いているため「加入者に負担軽減を」と要求しましたが、「国保加入者全体の保険税を抑制することに充てられている」と説明、納付金算定方式については今後議論していきたいと答弁しました。

悪法強行の会期延長は許せない！

このほか、待機児童対策、農道磯尾34号線を市道に認定するよう求めて質問しました。

■岡田重美議員

①原発ゼロと原子力防災②介護保険料と保険者機能強化推進交付金③土山での乳幼児健診の再開④旧東海道の松枯れ対策⑤悲しい事故を起こさないために通学路の安全点検と対策の5項目について質問をしました。

国民世論からも市長は原発再稼働反対を表明すべきではとの問いに、「国の責任において判断されるべき」とこれまでと同様の答弁、また安定ヨウ素剤は今まで通り備蓄すべきとの問いに、原発から30キロ圏外であり備蓄は行わないとの答弁でした。

土山での乳幼児健診再開の求めに対しては、環境や備品の整備、専門職の協力など実施計画が必要、医師の確保にむけて検討中との答えでした。

■小西喜代次議員

お茶の寒干害対策について、市の具体的な対応と今後の課題、県・国への要望、安定経営のための方策や後継者育成の対策を求めました。

売電目的の太陽光発電施設の規制と環境対策は、甲賀市の場合、1000㎡以上は開発許可対象となつているが、それ以下は事実上野放し状態。現在の条例では規制ができないことから太陽光発電に特化した条例制定を求めましたが、現在は考えていないとのことと引き続き求めていきます。

小学校での「道徳」と「英語」の教科化への対応については、現状と課題を質しました。英語教科化に対して、市として県への職員配置などの要望と市独自の確保策を検討しているとの答弁。

今年で60年目、国民平和行進

6/16 甲賀市から湖南省へ網の目行進

8月の原水禁世界大会に向け5月6日に東京を出発した原水爆禁止国民平和行進は、60周年という重要な節目の年。昨年7月国連での核兵器禁止条約の採択、そして今年は米朝首脳会談と平和へ大きく前進。

今年も市役所前での出発式では、正木副市長、林田議長の激励、市の幹部の見送りを受け、議員団3人も湖南省に向け元気に出発しました。(写真)



議会最終日の傍聴をお願いします。
6月28日(木) 本会議は10時開会。委員長報告・質疑・討論・採決が行われます。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2018年 6月 24日 第221号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町北山78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696